

《金子みすゞ感想文 角野小学校 5年生 中沢 涼輔》

芝草(しばぐさ)

名は芝草といふけれど、
その名を言ったことはない。

それはほんとうにつまらなく、
みじかいけれど、そのうしろ、
みちの上まではみ出して、
力ぢからいこぼれりきとせ、
とてもぬけない、こよひ草。

げんげは紅(あか)いはながさく、
すみれは葉までやさしくよ。
かんざし草はかんざしに、
きょうびななんかは笛になる。

けれどももしか野原じゅう、
そんな草たちばかりなら、
くたびれたとき、わたしは、
どこへ腰(こし)かけ、どこへねよう。

青い、丈夫(じょうぶ)な、やわらかな、
たのしいねじょう、芝草よ。

「金子みすゞ童謡全集」
「こころ」

作者の中でこのしば草はつまらなくて短くて、強い草、草をかる時に力んでもぜんぜんぬけない、そんな気にもとめない草です。

そんなしば草をぼくも言われたらわかるくらいにしか思っていないでした。

作者はげんげは赤い花を咲かせ、すみれは草までやさしく、かんざし草はかんざしなり、京びなは笛になる。そんな原っぱへのイメージには共感できます。花をつんだりはしてないけど、花のよくでる春に草すべりに原っぱに行きます。だからこういう花は見ますが、やっぱりしば草のことは忘れてしまっています。

しかし、作者はこのような花ばかりの原っぱだと、腰をかけたりにすることや、遊びつかれて寝そべる所がなくなってしまうということに目を向けています。

このしば草を作った作者は一つ一つを大切にしているやさしい人だと思いました。そしてぼくもこの人のように、一つ一つの良い所に目を向けて大切にしていけたらいいなと思いました。

定例会日時のお知らせ

☆日時：毎月第3木曜日 AM10時～12時30分まで

☆場所：新居浜市まちづくり協働オフィス

エッセイ募集

☆私の好きなみすゞの詩

☆どしどしご投稿下さい。



平成 29 年度・金子みすゞ感想文・感想画が数多く寄せられました。順次紹介いたします。
新居浜市の小・中学生の作品をご覧ください。



もういいのを読んで
金子小学校 3 年 清水 煌生



すずめのかあさんを読んで
金栄小学校 2 年 竹下 幸希



大漁を読んで
大生院小学校 1 年 菊澤 明史



明るいほうへを読んで
金栄小学校 3 年 安西 ななほ



ふしぎをよんで
金栄小学校 1 年 魚波 遥花



白い帽子を読んで
角野小学校 2 年 竹内 寛尊